

収益性はもちろん、
勘の鋭い
建設会社は
人材採用にも
繋げている…。



ICT施工

地域ゼネコンの取組み

ICT施工で高い
収益性を実現する
地域ゼネコン

7年連続
評点80点越え
ゴールドカード認定

ICTを採用の武器に
技術者10名採用する
地方ゼネコン

新型コロナウイルスに罹患された皆さま、
および関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

WEBセミナー(PC・スマホで受講可能)

【50周年感謝セミナー】i-Constructionセミナー

2020年12月7日(月)・12月9日(水)

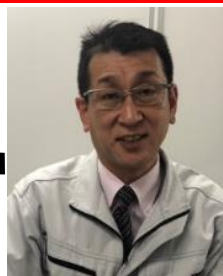
お問い合わせNo. S065225

<主催>  株式会社船井総合研究所

〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル
TEL: 0120-964-000 (平日9:30 ~ 17:30)

- お申込みのお問合せ: 中田 (ナカタ)
- 講座内容のお問合せ: 下枝 (シモエダ)

優遇制度を活用すれば ICT施工で高い収益性は可能です



株式会社加藤組
取締役 土木部長
原田 英司 氏

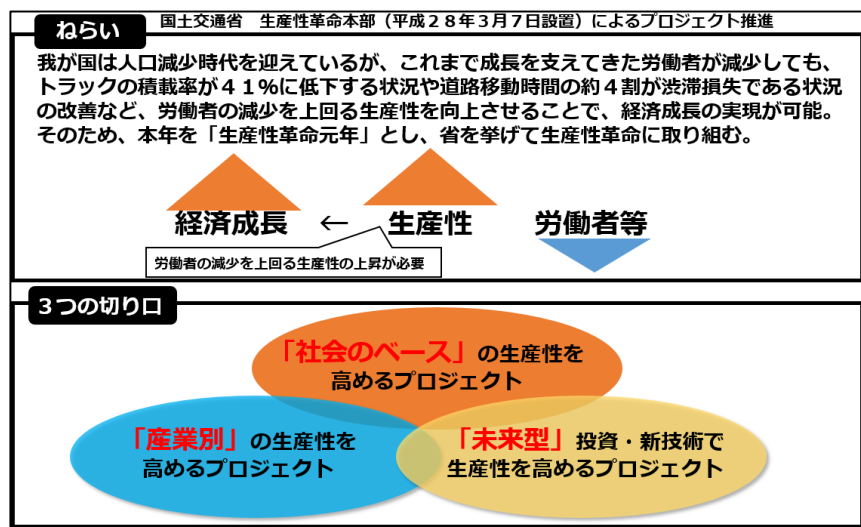
〈企業プロフィール〉株式会社加藤組（広島県三次市・売上35億・社員数128名）
公共土木中心の地域ゼネコン。ICTの取り組みをいち早く行い平成30年度にi-Construction大賞の国土交通大臣賞を受賞した。国の制度を上手に活用しICT機材の導入を積極的に行っている。近年ではICT施工を積極的に企業ブランディングに活用し、技術者の採用にも成功している。

ICT施工は4年前から取り組んでおります。最近では数ある地域ゼネコンの中でも

特に生産性や収益性が高い企業として全国から問合せいた

だきます。実際に取り組んでいて思うのは**今は行政のサービス期**

間で様々な優遇制度を取ってくれているという事。



←国土交通省の直轄工事では、2023年度までにBIM/CIM原則化目標を掲げ様々な優遇措置を取っている。

「ICTの導入」及び「働き方改革」を進めている企業は国からの評価も高い。

例えば、**ICT機材の購入で補助金を使える**ということも

そうですが、その他にも工事の際**ICT施工の実施でかかる費用**

を、適正額は行政が見てくれます。

また、一般的にICT施工は大規模工事の話で小規模工事には活用しづらいと思われがち

ですが、国から出ている優遇制度をしっかりと理解、活用することで、

小規模工事にも十分活用

でき、利益を出すことができています。



←小規模歩道工事
ミニショベルを活用し、
現場の生産性向上に成功。
この工事でi-Construction
大賞を受賞した。

更に**ICTに取り組む事で点数にも反映**され、ウチの会社は

7年連続評点80点以上、ゴールドカード認定

をいただくことにもつながっています。

また進めていくうちにわかってきたのですが、ICT施工は外部、特に若者からの評判が

良く、**“先進的な取り組みをしている地元企業”**と

いう企業ブランディングにつながっているということです。これが**人材採用**

にも大きくプラスの影響が生まれました。

多くの建設会社もそうだと思いますが、ウチの会社のような

地方ゼネコンの課題は人材確保

で、3Kと呼ばれる不人気業界の中で地元の若手人材の採用が急務でした。



↑加藤組様のHP。スマートコンストラクターという商標を取得し、企業ブランディングに活用している。

ところが2018年にi-Construction大賞を受賞した際、

「ICTは企業PRに使えますと思います！」と

事務の女性から上がった声をきっかけに、HPやパンフレット等を刷新していきました。

例年、採用人数0人は珍しくなかったのですが、

採用活動にも積極的にICTをアピールした結果、

なんと年間10名ほどの採用

に繋がったのです。



↑加藤組様のパンフレット。VRやICTに取り組んでいるということアピールしたパンフレットに大きくデザインを変えた。

しかも多くが欲しかった**地元で技術者志望の理系学生**でした。

【2018年～2021年の採用実績】 ↓特にICT施工に取り組みたいという技術者志望の学生の応募が多い。

	2018年	2019年	2020年	2021年（予定）
院卒	0人	0人	0人	1人
大卒	0人	0人	1人	1人
短大卒	0人	0人	0人	2人
高卒	0人	0人	1人	2人
中途	0人	0人	7人	0人

今改めて感じることは、**ICT施工は生産性向上、高い収益**

性の実現はもちろんのこと、企業PRに生かすことで**地方ゼネ**

コンの若手人材確保に繋がるということです。

ウチの会社の取り組みが他の地方建設会社様のお役に立ち、ぜひ一緒に建設業界を盛り上げていければと思っております。

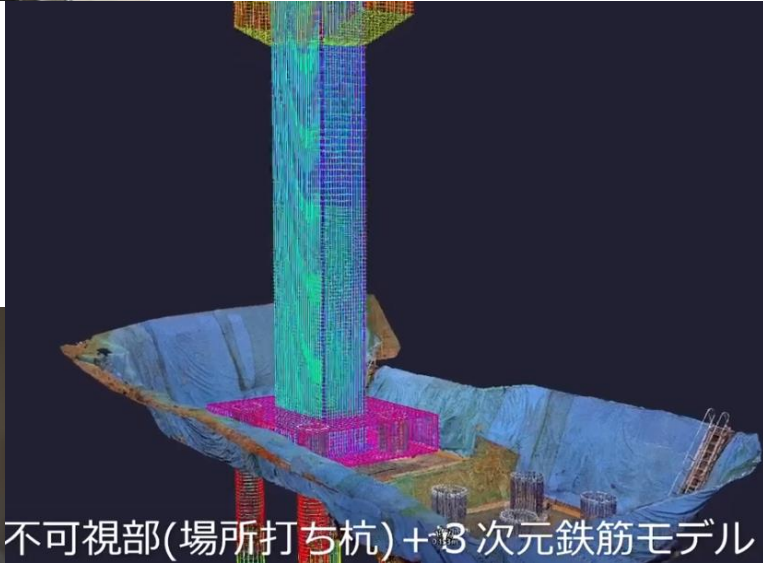


↑←広島大学の研究施設の命名権を取得。

「KATO OMOSHIRO LABO」というネーミングで校内に施設がある。学生への認知度向上が見込めている。



→加藤組様ではBIMの活用も行っている。設計で差をつけて建築受注に結び付けたケースもある。



←インターンシップの様子。3次元設計やVR体験等は学生からも人気があり、多くのインターンシップ生が集まる。

毎年10名人材採用している i-Contツプランナーの取り組み



北海道空知郡 株式会社 砂子組
執行役員 企画営業部 部長
兼 ICT施工推進室 室長
真坂紀至氏

業界志望者を増やすためのPR活動と企業文化

ICT施工を全国に先駆けて実施していることは、**生産性が高ま**

り収益を稼ぐことはもちろんですが、うまく使えば**他にも多く**

のメリットがあることです。その一つが**人材採用**だと思えます。

ウチの会社は積極的に地域でPR活動をし、学生との接点を多く持ち、認知度を上げる取り組みをしております。例えば地元の高校の授業で講座を担当したり、インターンシップ、講演活動、採用HP、インスタグラム…など独自に色々取り組んでおります。

2019年は13名採用でき、

今では社内の**40%が20代**です。

企業PRする中で、ICT施工の話をするると若手



▲人材採用を目的とした特設サイトを制作している。

人材からの評判は良いです。ですが、もちろんそれが全てではありません。

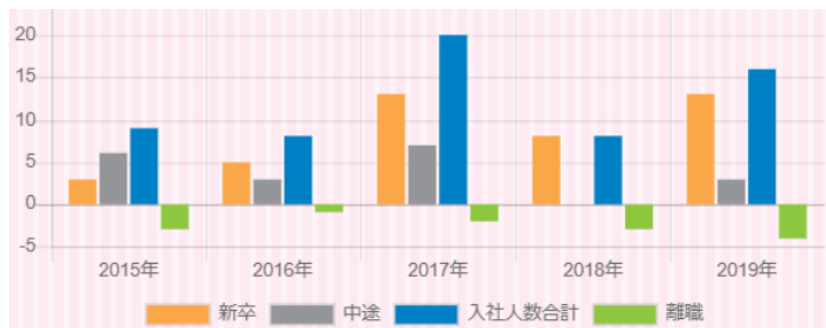
色々な企業PRの取り組みがミックスして、今の成果に繋がっていると思います。

ただ、PR活動の目的は自社の人材採用のためではなく、

建設業界を志望する人を増やしていきたい、

地元企業に就職する若者を増やしていきたい、

そういう視点で取り組んでおります。どの業界よりも最先端を走っているi-Conは今の学生の目に留まりやすく、魅力的な職業像に映っているのではないかと思います。



◀過去5年間の年度別の人材採用数。
多くの新卒入社があると共に、中途人材も年間数名応募がある。
また離職率が非常に低く、社員の定着率が高いのも砂子組さんの特徴である。

「なぜそんなに先進的な取り組みができるんですか？」とよく質問をうけるのですが、

一言でいえば文化として**“挑戦”と“改善”が根付いており、**

それが**人材育成に繋がっている**と思います。

ICT施工に関して言えば、マニュアル通りのICT施工ではなく、

「この工程にICTを使ったらもっと生産性があがるのでは？」と**社員自らが**

考えて挑戦していくことを大事にしています。

ダメだったら原因を見つけ改善し、もっと良くなるにはどうしたら良いか？を社員には考えさせます。そうすることで、“失敗を恐れずにどんどん挑戦し改善できる文化”が根

付きますし、なにより社員が楽しそうに主体的に働きます。特に**ICT分野は**

若手社員が主体となって挑戦できる有効な手段です。

まだまだ進化の途中ではありますが、業界のために！という全国の建設業の経営者の方々と業界全体を盛り上げていくような取り組みが出来たらと思っております。

土工だけでなく、地盤改良、法面、付帯構造物設置も 地域ゼネコンもICT施工



日立建機株式会社
顧客ソリューション本部
コンストラクション企画部
主任 田中 一博氏

今後はICT施工の内製化/ICT人材が大きなテーマに

少し前まではドローンやレーザスキャナーを用いた測量はコスト面や手間の問題で、
地域の建設会社がICT施工を導入するのは難しい面がありました。

しかし、最近では機材の売価が下がった事やスマホで手軽に三次元計測ができる機材も

発表されていますので、**これまで二次元図面だった建設会**

社も気軽に三次元施工に取り組みようになっています。

また、土工・舗装工・浚渫工に続き2020年からは**地盤改良工、法面工、**

付帯構造物設置工へもICT施工の導入の方針が出ました。

大きな工事の印象があったICT施工ですが、

最近では**小規模工事に活用**

される例が目立ってきています。



3密防止を目的に建設現場の遠隔化/省力化
が叫ばれ、ICT施工が広がると共に、今後は

▲建機の提供だけでなく、測量からデータ納品まで
の一貫したサポートも可能なため、現場でのトラ
ブルも相談しながら安心して進めることができる。

ICTの内製化,ICT人材の育成が大きなテーマになると思います。

地域ゼネコン様向けセミナーのご案内

ICT施工の収益性を高め 人材採用にも繋げる



株式会社船井総合研究所
建設支援部 建設チーム
リーダー

下枝将洋

最新の建設業向け事例レポートはいかがでしょう？

ここからはICT施工に既に取り組んでいる、もしくは取り組もうとしている

経営者様に向けた**WEBセミナーのご案内**です。

1つ目のセミナーテーマはズバリ、

“ICT施工の収益性を高める方法”です。

2019年国交省の直轄工事のICT実施率は約80%と高い一方で、都道府県では

未だ約30%と、**地域企業へ中々広まりきらない**様子です。

理由は単純で収益性の低さにありました。

ICT施工をしたら利益が出ない。導入コストもかかるし、
回収までに時間がかかる。だから重い腰が上がらない…というのが本音ではない
でしょうか。

ただ一方で、ご紹介した加藤組様のように**導入コスト問題を解**

決し収益性を高めている企業様がいるのも事実です。

そこで今回、地域ゼネコンのICT施工事例と収益性を高める方法について、

実際、**ICT施工で高い収益性を出されている加**

藤組 原田部長にゲスト講師としてご講演い

ただけることになりました。大変貴重な機会をいただき感謝です。

そして、2つ目のセミナーテーマはズバリ

“ICTを企業PRの武器にした人材採用”です。

現在、どの建設会社様も**慢性的な人手不足**に悩まれていることで
しょう。

元々、業界的にもPR活動を積極的に行っている企業様は少ない中、

近年、**ICTを武器にした企業PRを行い、理系の**

若手人材を採用できている企業様が増えてきているのです。

今回のセミナーでは、ICTを企業PRの武器にした人材採用の方法についてもお
伝えする予定です。

以上、本セミナーは、

「ICT施工の収益性を高める方法、そして、

ICTを武器に人材採用する方法」

をお伝えするセミナーであり、忙しい経営者様にも・・・

”今”聞いて欲しい内容です。

また、今回のセミナーはよくあるi-Con事例紹介セミナーとは一味も二味も違います。

一般的なセミナーでは「良い話聞いた。でもどう自社に落とし込めば良いかわからない」という内容がほとんどですが、

今回は**”実際に自社で落とし込むにはどうしたら良いのか”**までかみ砕いた内容を皆さまにお伝えする予定です。

そのため、今回、**世界有数の建機メーカーである日立建機様**にも「地域ゼネコン様が行う最新のICT機材と施工事例」についてご講演いただく予定です。

当日の講座内容については同封しております、別紙をご参考にしてください。

2020年5月、新型コロナウイルスの影響もあり、国交省がBIM/CIM原則化を

当初の予定より**2年前倒しの2023年度までに導入**

という方針を出しました。

次世代に向けた国交省の本気度を感じます。

今回、他のセミナーではない**地域ゼネコン様が明日から取**

り組むための一歩踏み込んだテーマ、そして、

特別ゲストの講演をお聞きできる貴重なチャ

ンスですので、ICT施工に既に取り組んでいる会社様も、これからという

会社様もぜひご参加いただければと思います。

本セミナーの参加費用はわずか2万円（税別）です。

これがどれほど価値のある事かお分かりかと思います。

セミナー当日、ご参加いただけることを楽しみにしております。

株式会社船井総合研究所
建設支援部 建設チーム
リーダー

下枝 将洋

追伸

ウチはICT施工はまだほとんど取り組んでいない、外注なので内製化を検討している、という企業様に向けた内容も当日お話しする予定です。ご安心下さい。

【WEBセミナー】PC・スマホから受講できます

ICT施工の収益性を高め人材採用にも繋げるセミナー

【開催日】2020年12月7日(月)・2020年12月9日(水)

13:00 ~ 16:00

(ログイン開始 12:30~)

■ ゲスト講師① 講座内容

【地域ゼネコンのICT導入の成功事例大公開】

- ・平成30年度「i-Construction大賞」国土交通大臣賞の受賞
- ・最新のICT施工の導入実績をご紹介
- ・初期投資は1億円以上でもICT活用工事に取り組んだ戦略
- ・ICT施工の導入コスト問題を解決し収益性を高める具体的手法
- ・ICT機材の内製化と外注の棲み分けについて
- ・競合と差別化を図る！ICT活用工事実施による評定点アップ
- ・ICT施工のブランディング戦略「スマートコンストラクター」
- ・ICT施工を採用に活かし採用率アップ！ICT人材の積極採用と育成術



株式会社加藤組
取締役 土木部長
原田 英司 氏

■ ゲスト講師② 講座内容

【地域ゼネコンのICT施工事例とICTの内製化】

- ・世界有数の建機メーカー・日立建機株式会社の最新ICT建機
- ・地域ゼネコンのICT建機導入！生産性向上に成功した全国事例
- ・ICT活用工事の流れやICT建機の特徴、内製化に向けたアドバイス
- ・将来のICT人材を輩出！ICT活用工事の研修の全貌



日立建機株式会社
顧客ソリューション本部
コンストラクション企画部
主任 田中 一博 氏

■ 船井総研 講座内容

【地域ゼネコンのICT事例と人材採用に向けたPR】

- ・コロナ後の建設業不況に備える！2023年を見据えたi-Construction推進
- ・土木工事が受注できなくなる!? ICT活用工事の指定型の今後の拡大
- ・中小零細でも大丈夫！ICT初期投資と人材不足を解決する方法
- ・理系人材が集まる！ICT施工を武器にした採用戦略
- ・採用に向けた地域の土木ゼネコンの企業PRとブランディング戦略の具体的手法
- ・大学、高校、社員の後輩がねらい目！地方でも人材採用できた事例 ...他多数。

ご入金確認後、マイページの案内をもってセミナー受付とさせていただきます。

【50周年感謝セミナー】i-Constructionセミナー

お問い合わせNo.S065225

開催要項


日時・会場	オンラインにてご参加	お申込期限：12月3日（木）	
	2020年12月7日（月）	開始 13：00～	終了 16：00（ログイン開始12：30より）
日時・会場	オンラインにてご参加	お申込期限：12月5日（土）	
	2020年12月9日（水）	開始 13：00～	終了 16：00（ログイン開始12：30より）

本講座はオンライン受講となっております。
諸事情により受講いただけない場合がございます。ご了承ください。

受講料	一般価格	税抜 20,000円（税込22,000円）／一名様
	会員価格	税抜 16,000円（税込17,600円）／一名様

●お支払いが、クレジットの場合はお申込み手続き完了後の案内（メール）をもって、セミナー受付とさせていただきます。銀行振込の場合はご入金確認後、お送りする案内（メール）をもってセミナー受付とさせていただきます。●銀行振込の方は、税込金額でのお振込みをお願いいたします。お振込みいただいたにも関わらずメールがお手元に届かない場合や、セミナー開催4営業日前までにお振込みできない場合は、下記お申込み担当者へご連絡ください。なお、ご入金を確認できない場合は、お申込みを取消させていただきます場合がございます。●ご参加を取り消される場合は、開催3営業日（土・日・祝除く）前まではマイページよりキャンセルをお願い致します。それ以降は下記事務局宛にメールまたはお電話にてご連絡ください。尚、ご参加料金の50%を、当日の欠席は100%をキャンセル料として申し受けますのでご注意ください。

お申込方法	下記QRコードよりお申込みください。クレジット決済が可能です。受講票はWEB上でご確認いただけます。 または、船井総研ホームページ（ www.funaisoken.co.jp ）、 右上検索窓にお問い合わせNo. 065225を入力、検索ください。
-------	--

お問合せ	 明日のグレートカンパニーを創る Funai Soken 株式会社 船井総合研究所 TEL: 0120-964-000（平日9:30～17:30） ●申込みに関するお問合せ：中田 ●内容に関するお問合せ：下枝
------	---

お申込みはこちらからお願いいたします

12月7日（月）オンライン
申込締切日 12月3日（木）

12月9日（水）オンライン
申込締切日 12月5日（土）

